

美々と通信

西東京市立青嵐中学校第3学年
令和5年4月27日 第5号

◇3年生の決意◇

新しいクラスにも慣れ、仲間同士が打ち解けてきた様子が伺えます。また、委員会等でも3年生として頼もしい姿を見せてくれています。今回は、『3年生になって』の作文をクラスごとに紹介します。作文の内容から最高学年としての一人ひとりの意識の高まりを感じます。



「僕の当たり前」 3年B組 YN

僕は三年生になった。去年はやり残したことがとても多い。だからもう一度当たり前を取り戻す1年間にしたい。

去年の今頃はもう学校へ行くことが難しかった。一年生の終わりに病気になったからだ。病気になれば、二年生も毎日学校へ行くことができたろうし、もっとたくさんの思い出を作ることができたと思う。そう考えると、とても悔しくて悲しい。三年生になった時、毎日学校へ行けるようにするため、ここまで頑張ってきた。だから今年一番の目標は、「毎日健康に生活すること」である。毎日健康に生活できなければ、また学校へ行くことができなくなる。それでは意味がない。けれど、毎日健康に生活して学校へ行くことだけでは、当たり前を取り戻したことはない。確かに毎日学校へ行くことは大切だけど、ふつつならそれは当たり前のことであって、頑張るようなことではない。だから、学校へ行くことができたなら、次に「勉強をしっかりとできるようにしたい」と思う。去年は学校へ行けなかったことで、一人で勉強をする時間がほとんどで、深く理解できなかった部分も多くあった。今年は、去年の復習もしながら、三年生の勉強もしっかりとできるようにしたい。

二年生の一年間を通して、今までは当たり前できていたことが突然できなくなってしまふことの辛さを本当に実感した。けれど同時に、今できることは今すぐやるべきだ、ということにも気付くことができた。その一歩を踏み出すためにも、「当たり前を取りもどす」そんな一年間にしたい。



「三年生としての決意」 3年B組 KY

私は今まで親に「勉強しなさい」と怒られずに育ててきた。その結果、救いようのない程の成績になってしまった。行ける高校もほとんどないと言われた。友達に何回も「やばいよ？」と言われたけど、そんなに気にしなかった。私はまだ高校受験の重みが分かっていなかった。

そんなある日、二年生の三学期になっても勉強しない私に母は突然こんなことを言った。「なんで高校に行くと思う？」私は「社会マナーを学ぶため？」と答えた。すると近くにいた姉が何か言ってきた。何を言っていたか今は思い出せないが、確かにその一言で私の気持ちが切り変わった。そして、数日後、塾に行きはじめ、目標を立てた。その目標は残りの一年、本気で勉強してその高校に入り、ハッピーJKライフを送る。そのためにはいくつかやらなければならないことがある。

一つ目、わからないことはそのままにしない。わからないことを考えるのも大切だが、先生に詳しく教えてもらうことが一番と最近改めて思った。二つ目、勉強の計画をしっかりと立てる。なにも計画せずに進めると必ず教科に偏りが出てくる。三つ目、先生の話もしっかりと聞く。私は先生の話より、ノートをきれいにまとめる方が大事だと思っていた。しかし、逆だ。ノートならば、友達に見せてもらって今は先生の話聞いて、メモを取るほうが大事だと最近気づいた。四つ目は最高学年という自覚をもつことだ。きっと今年度は様々な行事が復活するだろう。その時、カッコいい3年生の姿だけを可愛い後輩に見せていきたい。

どうせできないでしょ、ではなくやればできたのか、とみんなに思わせる。口だけではなく、行動で示す。

「三年生での三ヶ条」 3年B組 UN

今、私は三年生への意気込みのような文章を書くことになっている。私は物事を伝える時や書く時に、余計な言葉が多く、相手に本当に伝えたいことが伝わらないことが多々起きる。今回はおもしろさを捨て、自分への課題を条約のようにわかりやすく書いていこうと思う。

一、気力を行動力に変換せよ。

今の私の気分は実に好調だ。久しい友とも仲良くできた。しかも、自己紹介を一番で行うこと、班長になることで、先生やまだ知らない仲間にもアピールすることに成功した。しかし、気力だけがあっても、実際に行動しなければ何の成果も手に入られない。失敗という経験すら手に入られない。したがって、失敗しても今の時代は死ぬことはないので、恐れずに行動すべきである。

一、作文のレパートリーを増やせ。

近頃の私は、作文の表現が単調になりがちである。二年生の「言の葉」で自分の作品がクラスで選ばれ、調子に乗ったのが原因になっている。似たような作文ばかりしているので成績が下がってしまう恐れがある。先生も人間なので、同じような作文が何度もきたら飽きてしまうだろう。これで内申点を落としてしまったら取り返しがつかない。この先、作文することも多いだろうから、今のうちに作文のレパートリーを増やすべきである。

一、調子に乗るな。

一番気をつけろ。私の永遠の敵である。

以上の三つが三年生になるにあたっての三ヶ条である。どれも欠かすことのできない大切なものである。この三ヶ条の相手はもちろん私である。正確に言うと、欲などを司る心の私である。世界が発展と環境の両立がもためられているように、今の私は、まことの心の私の両立が大切だ。

一、発展すれば衰退するが、逆もしかり。

○セーフティ教室○

4月22日の学校公開では、セーフティ教室が行われました。

「自転車に乗る際の交通安全」について、「スマートフォンの使い方について」の2つのテーマで、ビデオを見て、NTTドコモの方にリモートで講義をしていただきました。



○学年活動の様子・生徒総会議案書討議○

生徒総会に向けて議案書の討議を行いました。校訓でもある「自治」の言葉を改めて考え、最高学年として学校をどのようにしていきたいか、話し合いました。

